

一般会計 歳出

417億2,770万3千円

特集2

令和6年度

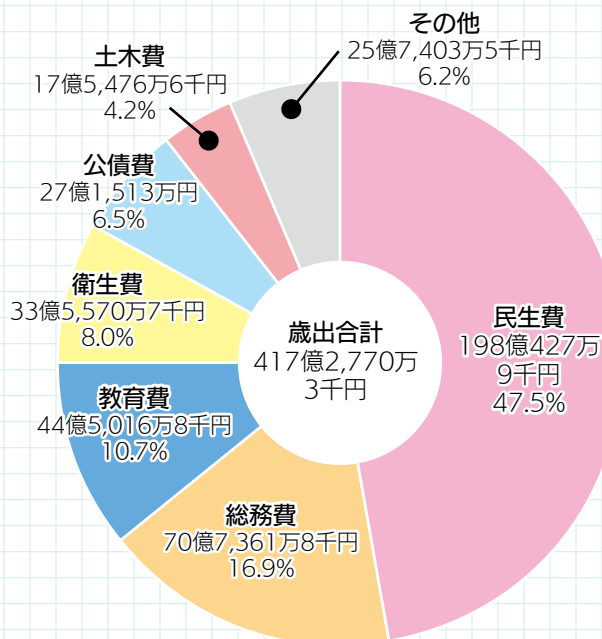
決算

用語の説明

- 民生費
子どもや高齢者、障がい者など福祉の費用
- 総務費
行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用
- 教育費
教育や文化、スポーツなどの費用
- 衛生費
健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- 公債費
市の借金の返済などの費用
- 土木費
道路や公園などの補修や建設などの費用
- その他
議会や農・商工業、消防、災害復旧などの費用

歳出全体としては、前年度比39億9,930万6千円（10.6%）の増加となりました。

定額減税調整給付金支給事業による総務費の増が主な要因です。



基金

市全体の貯金は6年連続増加

基金は、自治体の貯金のことです。

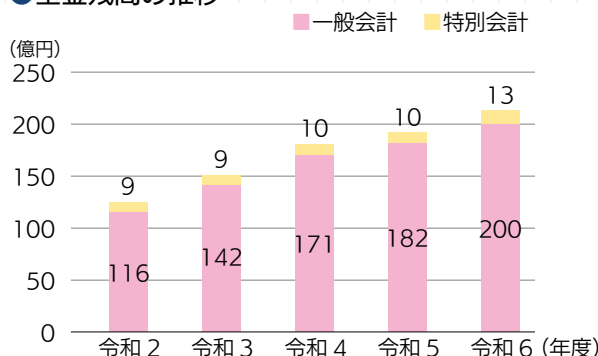
令和6年度は、財政調整基金や創生振興基金、公共施設等整備基金などに積み立てを行ったことにより、基金の残高が約21億円増加しました。

今後も、計画的な積み立て・取り崩しに努めていきます。

令和6年度末残高

一般会計 199億5,930万1千円
特別会計 12億8,074万3千円

基金残高の推移



令和6年度決算状況をお知らせします
皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われたか、市の財政がどのような状況であるかについてお知らせします。

問 財政課



一般会計

さいにゅう
歳入

427億4,654万8千円

用語の説明

自主財源

市が自主的に調達できるお金

- 市税 市民税や固定資産税など
- 繰入金・繰越金 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
- 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
- 諸収入など 発掘調査受託事業収入や広告料など

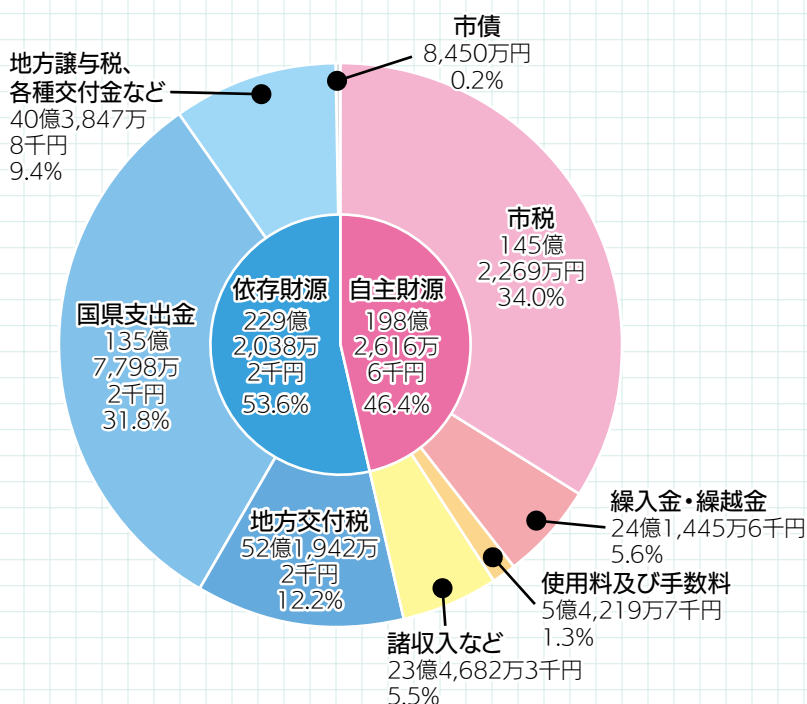
依存財源

国や県からの交付金や銀行からの借入金

- 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう国が交付するお金
- 国県支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
- 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
- 市債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金

歳入全体としては、前年度比35億4,344万3千円(9.0%)の増加となりました。

国県支出金や地方譲与税、各種交付金などの増加が主な要因です。



地方債

市全体の借金は約32億円減少

地方債は、自治体の借金のことです。

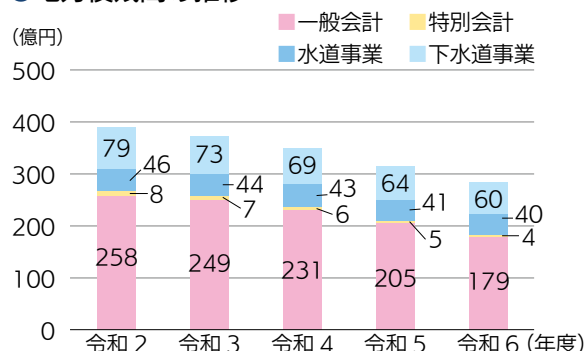
令和6年度は、前年度に引き続き、計画的な借入を行ったことに加え繰上償還を行ったことにより、市全体の地方債の残高が約32億円減少しました。

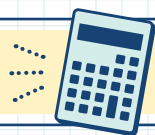
今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

●令和6年度末残高

一般会計	179億4,401万1千円
特別会計	3億9,283万7千円
水道事業	39億9,212万5千円
下水道事業	60億1,183万2千円

●地方債残高の推移





指標から見る筑紫野市の状況

健全化判断比率・資金不足比率

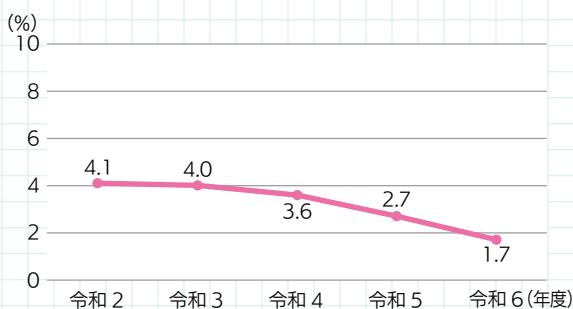
自治体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断する指標です。

本市の比率は国の定める基準を大幅に下回っており、前年度に引き続き健全であるという結果となっています。

令和6年度の実質公債費比率は、市債の計画的な償還を行ったことで、前年度より1.0ポイント改善しました。

令和6年度は **1.7%** (前年度2.7%)

実質公債費比率の推移



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は、いずれも比率が生じておらず、健全な状態です。

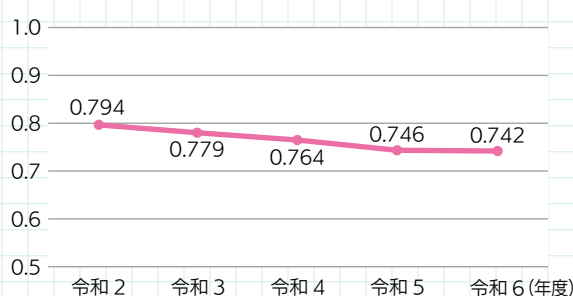
財政力指数

地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

令和6年度は、前年度より0.004ポイント減少しました。

令和6年度は **0.742** (前年度0.746)

財政力指数の推移



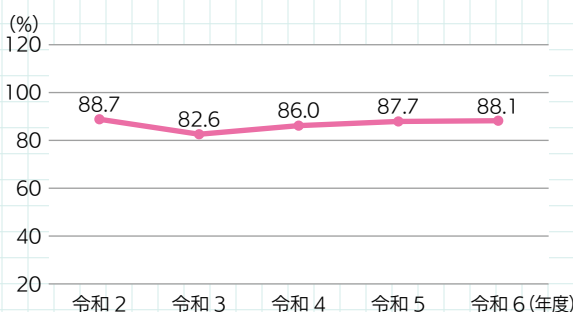
経常収支比率

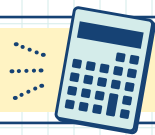
毎年決まって入ってくるお金(地方税、地方消費税交付金など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

令和6年度は、人件費の増などにより前年度より0.4ポイント増加しました。

令和6年度は **88.1%** (前年度87.7%)

経常収支比率の推移



とく べつ かい けい こう えい き ぎょう かい けい けつ さん しゅう し じょうきょう
特別会計・公営企業会計の決算収支の状況

主な特別会計決算収支

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	98億2,255万1千円	96億9,810万1千円
住宅新築資金等貸付事業	392万8千円	386万6千円
奨学資金貸与事業	701万8千円	442万8千円
介護保険事業	77億7,436万6千円	76億846万7千円
後期高齢者医療事業	31億6,242万8千円	30億9,677万4千円
農業集落排水事業	1億8,223万8千円	1億8,223万8千円

公営企業会計決算収支

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

(消費税等込み)

会計名	収入決算額	支出決算額
水道事業	収益的 収支 21億4,817万4千円	18億9,958万2千円
	資本的 収支 2億3,310万6千円	11億1,080万5千円
下水道事業	収益的 収支 23億7,814万6千円	20億7,966万9千円
	資本的 収支 5億1,748万6千円	9億2,505万7千円

かみ はん き ざい せい うん えい じょうきょう
令和7年度上半期 筑紫野市の財政運営状況

令和7年度の上半期(9月30日現在)の歳入歳出予算の執行状況を紹介します。

会計名	予算現額(A)	収入済額(B)	収入率 (B/A×100)	支出済額(C)	執行率 (C/A×100)
一般会計	437億945万2千円	189億350万9千円	43.2%	162億94万4千円	37.1%
国民健康保険事業	98億2,327万2千円	40億3,414万5千円	41.1%	35億7,288万1千円	36.4%
住宅新築資金等貸付事業	182万4千円	131万3千円	72.0%	0円	0.0%
奨学資金貸与事業	683万円	477万4千円	69.9%	312万7千円	45.8%
介護保険事業	81億1,529万9千円	32億6,645万1千円	40.3%	32億3,850万円	39.9%
後期高齢者医療事業	33億2,737万4千円	8億53万4千円	24.1%	14億5,950万1千円	43.9%
農業集落排水事業	1億6,961万5千円	1,422万円	8.4%	5,373万1千円	31.7%
二日市財産区	292万1千円	206万円	70.5%	12万2千円	4.2%
御笠財産区	258万5千円	500万円	193.4%	5万円	1.9%
平等寺山財産区	4,429万6千円	969万9千円	21.9%	5万円	0.1%
合 計	652億346万8千円	270億4,170万5千円	41.5%	245億2,890万5千円	37.6%

(※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。)

●市民の税負担状況

令和7年9月30日現在の人口 106,380人

●財産の現在高

- ・土地 332万7,652㎡(令和7年3月31日現在)
- ・建物 23万3,323㎡(令和7年3月31日現在)
- ・基金 209億8,440万2千円(令和7年9月30日現在)

●詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。

●市民一人あたりの市税負担額 81,139円

(市税収入済額86億3,155万2千円に対する額)

●市債および一時借入金の現在高

- ・一般会計 166億8,394万7千円(令和7年度末見込)
- ・特別会計 3億1,625万2千円(令和7年度末見込)
- ・一時借入金(全会計) 0円(令和7年9月30日現在)

問財政課 財政担当 ID3467



実施した主な事業

政策 1

人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

●子ども・子育て支援事業計画推進事業

409千円

少子化対策だけでなく、子どもの貧困対策や若者の育成支援などを加え、子ども・若者とその家庭を支援する総合的な計画として、「筑紫野市こども計画」を策定しました。

●児童福祉施設整備事業 325,265千円

待機児童解消を目的として、市内に児童福祉施設を設置する事業者に対して補助を行うことにより保育所を新設し、入所定員を150人拡充しました。



▲補助で新設された「リトルワールドちくし保育園」

●校務支援システム導入事業 265,615千円

教職員の働き方改革推進を目的として、統合型校務支援システムを導入するとともに、小中学校のICT環境の充実のため、教職員用端末の入替や校内のネットワーク環境整備などを行いました。

政策 2

市民が織りなすスポーツ・文化のまちづくり



▲蔵書が充実した電子図書館

●スポーツ企画担当一般事務事業 5,992千円

スポーツを取り巻く環境の変化や市民のニーズに対応し、スポーツのもつ「チカラ」をまちづくりに生かすことを目的として「筑紫野市スポーツ推進計画」を策定しました。

●図書・視聴覚資料購入事業 27,780千円

電子図書館の蔵書を充実させ、誰もが読書に親しむことができる環境を整備するため、電子書籍を新たに導入しました。

政策 3

自然をまもり未来を育むまちづくり

●公共施設照明LED化事業 4,400千円

脱炭素化の推進および電気料金の縮減を図るため、公共施設などの照明器具をLED照明器具に更新しました。

●環境基本計画見直し事業 2,843千円

環境危機に対する社会情勢の変化に対応し、市の環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に第三次筑紫野市環境基本計画の改訂を行いました。



▲LED化で明るくなった山家スポーツ公園



政策4

つよみをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

●地域活性化商品券補助事業

42,222千円

筑紫野市の消費拡大、地域経済の活性化に寄与するため、筑紫野市商工会が発行するプレミアム付き商品券のプレミアム分などに補助を行いました。

●L P ガス料金高騰対策事業

55,284千円

LPガス料金高騰の影響を受ける家庭および事業者の負担軽減を図るため、県LPガス協会に補助金を交付することでガス料金の一部を減免しました。

●畜産飼料等価格高騰対策事業

9,180千円

飼料価格などの高騰により経営に影響を受けている畜産農家に支援金を支給することで、経営の安定化、生産性の向上を図りました。



▲更に使いやすくなったスマートフォンアプリの商品券

政策5

ささえあい、暮らしに寄り添う健康・福祉のまちづくり



▲修繕できれいになった京町市営住宅

●保健事業(健康診査)

72,101千円

子宮頸がん、乳がんの検診受診率向上を図るため、新たに医療機関での個別検診を導入し、がん検診の受診機会を増やしました。

●公営住宅等長寿命化計画事業

40,725千円

筑紫野市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の修繕・改修工事を行いました。

政策6

あんぜんあんしん かいてきく ささ 安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

●防災システム管理事業

5,157千円

災害対応力の強化を図るため、災害対策本部で使用するGISシステムを改修し、機能の向上を行いました。

●コミュニティバス等運行事業

56,938千円

新たな公共交通サービスとして、山口地区においてAIデマンドバス「筑紫野のるーと」の実証運行を開始しました。



▲AIデマンドバス「筑紫野のるーと」

政策7

せいさくじつげん しみんめせん 政策実現のための市民目線のまちづくり



▲リニューアルしたつくしちゃん
と新登場した「むさし」

●「つくしちゃん」積極活用事業

3,772千円

市のPRや愛着心のさらなる向上を図るため、市マスコットキャラクター「つくしちゃん」のデザインをリニューアルしました。

●文書一般事務事業

15,051千円

カーボンニュートラルの推進および業務の効率化を図るため、ペーパーレスシステムの導入を行いました。